

*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。

*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。

*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡してください。








バイク用バッテリー維持 充電器	適応車種	商品NO.
	汎用	68586

■ご使用前に必ずご確認ください■



- ※ 取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。
- ※ 商品の保証については保証書裏面の保証規定に沿って行ってまいります。保証内容をご理解のうえ、この取扱説明書と一緒に保管してください。


本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

- 警告** 要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
- 注意** 要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。





 実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	 禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
 分解禁止	表記の禁止行為を告げるものです。	 その他	その他の警告及び注意を告げるものです。
 破裂注意	表記の注意を告げるものです。	 水ぬれ禁止	表記の禁止行為を告げるものです。
 火気厳禁	表記の禁止行為を告げるものです。		

警告

- 
禁止
 - 
破裂注意
- ・ バイク用バッテリー以外の電池を充電しないでください。また、バッテリー充電以外（直流電源）に使用しないでください。充電器が過熱したり、バッテリーの液漏れ・発熱・爆発の原因になります。
 - ・ ガソリン・オイルなどの可燃物の周辺や法令で第一種、第二種危険場所に指定されている場所では使用しないでください。火災や引火爆発の原因となります。
 - ・ 直射日光下や発熱体の近くなど高温の場所では使用しないでください。充電器の過・焼損、バッテリーの液漏れ・発熱・変型の原因になる恐れがあります。
 - ・ 振動・塩害・化学性ガス害の受けやすい場所での保管や使用はしないでください。漏電・感電や故障の原因になる恐れがあります。

	<ul style="list-style-type: none"> ・本充電器の交流入力は100Vです。指定以外の電源電圧で使用しないでください。充電器が過熱したり、感電・ケガの原因になる恐れがあります。 ・電源コードはコードを引っ張らず必ずプラグを持って抜いてください。また、使用しない時は、プラグをコンセントから抜いておいてください。電源コードが破損し、感電・発煙・発火・火災やケガの原因になる恐れがあります。
 火気厳禁	<ul style="list-style-type: none"> ・タバコなどの火の気のある場所、風通しの悪いところでは使用しないでください。バッテリーが引火爆発したり充電器が過熱する原因になる恐れがあります。

⚠注意

 実施	<ul style="list-style-type: none"> ・クリップをバッテリーに接続するときは、必ず電源スイッチをOFFにしてください。また、充電停止時は電源スイッチをOFFにしてからクリップを外してください。接続順序を間違えると発生するスパークによりバッテリー爆発の原因になります。 ・クリップはバッテリーの端子に正しく接続してください。バッテリー+端子に赤クリップを接続、バッテリー-端子に黒クリップを確実に接続してください。充電器が過熱したり、バッテリー爆発の原因になります。
 分解禁止	<ul style="list-style-type: none"> ・分解したり、改造したりしないでください。発熱・発火・火災や感電・ケガの原因となります。
 水ぬれ禁止	<ul style="list-style-type: none"> ・本器は防水ではありません。湿度の極端に高い場所、雨、雪などの水分のかかる場所で使用しないでください。 ・漏電・感電・充電器破損の原因になる恐れがあります。
 その他	<ul style="list-style-type: none"> ・異常や不具合が生じた場合には、直ちに使用をやめ、メーカーか、販売店に相談してください。点検・調整・修理はメーカーかメーカーが指定するサービス店に依頼してください。充電器の過熱や感電、バッテリーの爆発などの原因になる恐れがあります。 ・車載状態でバッテリーを充電する際には、電装系への影響が出る場合があります。必ず、車両マニュアル、サービスデータ等で確認の上使用してください。（車両のバッテリー端子を全て外すなどしてください。） ・BMWには使用出来ない場合があります。専用品をお求めください。

この度は、バイク用バッテリー維持充電器（68586）をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本器は維持充電機能を備えた12Vバッテリー専用充電器です。ご使用前に必ずこの取り扱い説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。この説明書はいつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。この商品を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取り扱い説明書を合わせてお渡してください。

商品の特徴

- 充電の進行状況をLEDランプでお知らせ！！
- バッテリーの自己放電を補い、常に最適な電池容量を維持します。
- 充電時は1Aで充電し、満充電になると、トリクル充電を開始。バッテリーの劣化等の理由で満充電されない場合は、安全確保のため、一定期間が経過すると、自動停止します。【5時間のオートタイマー】

主な仕様

適合電池	入力	出力	安全規格	寸法 (mm)			重量 (kg)	コード寸法 (m)	
				巾	奥行き	高さ		入力側	出力側
2.3~28AH	AC 100V 50/60 Hz	DC 12V 1A	 JET	80	140	65	約0.7	約1.6	約1.5

ご使用方法

- ①必ず電源スイッチがOFF になっていることを確認の上、作業を進めてください。
- ②バッテリー端子の極性を確認の上、バッテリー+端子に赤クリップを、バッテリー-端子に黒クリップを接続してください。
- ③電源プラグをAC100V コンセントに差し込んでください。
- ④電源スイッチをONに切り替えてください。POWER LED (赤) が点灯し、充電が始まります。
- ⑤充電が進行し、80%以上充電状態になると、CHARGE UP LED (緑) も同時に点灯します。この状態は車両の走行に問題のないレベルに回復しています。
- ⑥満充電に達するとPOWER LED (赤) が消灯し、維持充電モードになります。
- ⑦充電を停止するときは、本器の電源スイッチをOFFにし、電源プラグ、充電クリップを外してください。

注：維持充電を継続する場合の連続充電期間は3ヵ月以内としてください。

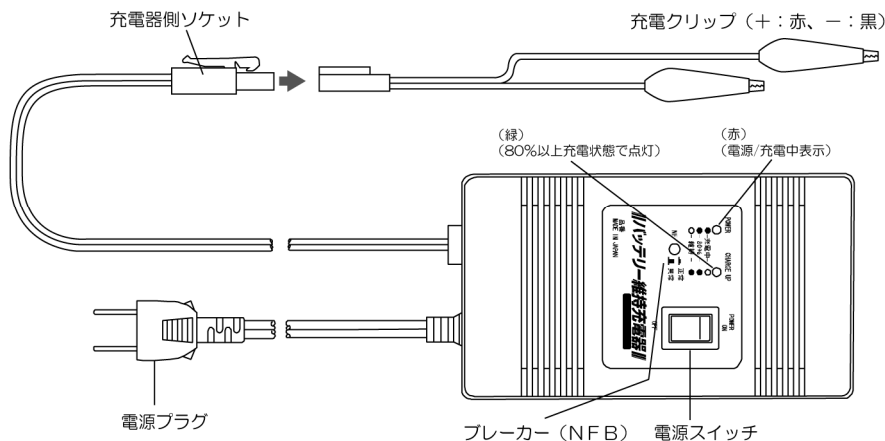
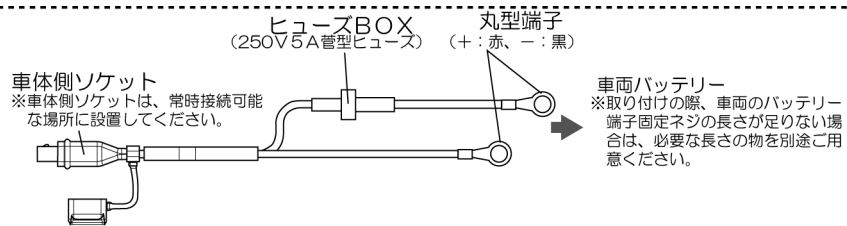
●各部の名称

別売品 (オプション)

品番：71637

維持充電器用車体ハーネス

※車体に装着しておけばソケット接続で充電することが出来ます。



●LED 表示と充電状態

充電状態	POWER LED (赤)	CHARGE UP LED (緑)
回復充電中	点灯	消灯
80%以上充電状態	点灯	点灯
維持充電中	消灯	点灯

●保護作動

- ① 入力 (1次側)： 変圧器の異常温度上昇に対して温度ヒューズにより保護します。
- ② 出力 (2次側)： 過電流、充電クリップの短絡、逆接続に対しては、ノーヒューズブレーカ (NFB) により保護します。

トラブルシューティング

症状	原因・要因	対応
赤LEDが点灯しない。 (電源が入らない)	①電源コンセントが入っていない。	正しくコンセントを入れる
	②充電器電源スイッチが入っていない。	本体の接続を確認し、スイッチを入れる。
	③1) 上記①、②いずれも当てはまらない。 2) 購入直後・前回の使用まで、充電器は正常。 ⇒充電器保護装置が働いている可能性があります。 ⇒※1	
赤LEDの点灯のみで、 緑LEDが点灯しない。	①充電器 DC プラグが正しく接続されていない。	正しく、確実に接続する。
	②DC プラグが逆に接続されている。	極性を確認し、正しく接続する。
	③NFB が作動している(ノブが飛び出している。)	接続・ショート等の原因を除去し、NFB を戻す。
	④車両配線キットを使用している。 (配線キットのヒューズが切れている)	配線キットのヒューズを確認、切れの場合溶断要因を除去し、ヒューズの交換。
	⑤1) ①②③④項がいずれも当てはまらない。 2) 充電容量がバッテリー容量と合わない。 ⇒電池容量が大きすぎる。 ⇒対応：電池容量・用途を合わせた充電器を使用。	
	⑥1) ④項も当てはまらない。 ⇒バッテリーが劣化している可能性がある。 ⇒バッテリーのセルがショートしている可能性がある。 ⇒対応・電池を交換する。	
明らかに電池が放電しているのに、直ぐに緑のLEDが点灯する。	電池が劣化しています。	新しい電池へ交換してください。
NFB が飛び出る。	①逆接続している。	DC プラグを確認し、正しく接続する。
	②対象電池が大きい。	容量に見合った充電器を用意するか、電池容量を充電器出力に合わせる。

※1 本器は電池劣化・電池不良・充電環境不適合など、充電に適さない場合に起因する充電器の異常過熱などが発生した場合、災害防止の為、未然に充電器内部の保護が働きます。

【よくある質問Q&A】

Q, 充電の出力が10V 前後しかない	A, 異常ではありません。充電制御方法により、電池につながっていない無負荷時の電圧は10V 前後になります
Q, 満充電となっているのに、再度試すと充電が完了していない。	A, 本器は充電末期の制御を電子タイマー（5時間）で制御しております。従って、一度充電を完了され、満充電状態であっても、再度充電器に接続すると、電圧感知後に電子タイマーが作動するため、再度5時間のタイマー充電に入ります。タイマー充電中に電源を切る、又は、充電器の接続を外しても、再度5時間タイマーとなります。
Q, 一晩中充電していたのに完了（充電されていない）していない。	A, 上記トラブルシューティングを確認しても該当項目が見当たらない場合に見受けられる症状として、工場など電気設備を分けて分配し、ご使用の場合は、夜間工場など作業が終わり帰宅されるなどによりメイン電源を落とされるケースがありますので、ご確認をお願いします。

東証JASDAQ上場
株式会社

デイトナ

〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮 4805

URL: <http://www.daytona.co.jp>

◎デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」
0120-60-4955 まで